

国際シンポジウム

5世紀の倭と東アジア



城ノ山古墳 帯金具
栗山雅夫氏撮影



百舌鳥古墳群



仁徳天皇陵古墳 復元甲冑



岡古墳 船形埴輪
藤井寺市教育委員会蔵

2021年 4月3日(土)

開場：午前9時30分／開会：午前10時00分／閉会：午後4時40分

会場：(公財)堺市産業振興センター イベントホール(堺市北区長曾根町183番地5)

定員：400名。事前申込制。応募者多数の場合は抽選。無料。

主催：堺市博物館 助成：公益財団法人カメイ社会教育振興財団(仙台市)

オンライン中継を行います!

シンポジウムの模様は、YouTubeによるオンライン中継にてご覧いただけます。当日堺市博物館ホームページ(下記URL参照)よりアクセスしてください。事前申込不要。

参加方法 往復ハガキまたは電子申請システムによる事前申し込み。

往復ハガキの場合は、往信の文面に参加者全員の氏名(ふりがな)、住所、電話番号を、返信の宛名面に返信先住所、氏名を明記の上、「堺市博物館 国際シンポジウム係」へお申込みください。1通につき4名まで。

申し込み締め切り日：3月22日(月)。往復ハガキは当日消印有効。

堺市博物館 〒590-0802 大阪府堺市堺区百舌鳥夕雲町2丁 大仙公園内
TEL.072 (245) 6201 FAX.072 (245) 6263
<https://www.city.sakai.lg.jp/kanko/hakubutsukan/>

電子申請システムでの
お申込みはこちら▶



開催趣旨

百舌鳥古墳群が造営された5世紀（古墳時代中期）は、巨大前方後円墳が築造された時代です。「倭の五王」に代表される当時の日本（倭）を支配した権力者は、東アジアとの密接な関係の中で様々な技術革新を推し進めました。また朝鮮半島では、百済・新羅・加耶などが緊張関係を持ちながら、それぞれ倭と交流を持っていたことが分かっています。近年の韓国における研究成果から、当時、双方向に活発な交流が行われたことが明らかになってきました。日本へもたらされた様々な文物をはじめ、日本から朝鮮半島へ影響を与えた遺構・遺物の研究も進展しています。

本シンポジウムでは、日本と韓国でご活躍されている研究者の講演や討論を通じて、百舌鳥古墳群が造営された5世紀の東アジア情勢、中でも倭と朝鮮半島との関係を明らかにします。

プログラム

9:30 開場

10:00 開会・挨拶

趣旨説明・諸注意

報告 橘 泉（堺市博物館）

「百舌鳥古墳群とは」

講演1 松木武彦（国立歴史民俗博物館教授）

「古墳時代中期の歴史像」

講演2 朴 天秀（慶北大学校教授）

「4・5世紀における加耶・新羅と倭の交流」

昼食

講演3 権 五榮（ソウル大学校教授）

「4・5世紀における百済と倭の交流」

講演4 田中俊明（滋賀県立大学名誉教授）

「倭の五王の遣使と東アジア世界」

講演5 柳本照男（元東洋大学校准教授）

「4・5世紀の東アジアと倭政権」

討論 司会：柳本照男・橘 泉

16:40 閉会

※講師は敬称略、講演2・3はオンラインにて中継予定



庭鳥塚古墳 筒形銅器
羽曳野市教育委員会蔵

特別展 海を越えたつながら 倭の五王と東アジア

会期：2021年3月13日（土）～5月9日（日） 会場：堺市博物館

韓国慶州市 路西里古墳群

ご来場の際のご注意

- ・発熱（37.5度以上）や咳・咽頭痛などの症状、だるさ、息苦しさなど体調に不安のある方のご来場はご遠慮ください。
- ・必ずマスクあるいは、ハンカチなど口を覆うものを着用してください。着用していない方は入場できないことがあります。
- ・新型コロナウイルス感染症対策のため、予告なく内容を変更することがあります。詳しくは、当館ホームページにてご確認ください。

世界遺産 World Heritage Site of Osaka
百舌鳥・古市古墳群
Mozu-Furuichi Kofun Group

会場へのアクセス

(公財)堺市産業振興センター
イベントホール

堺市北区長曾根町183番地5

- ▶大阪メトロ御堂筋線
「なかもず」駅 8番出口より（北西約300m）
- ▶南海高野線
「中百舌鳥」駅 北出口から（北西約300m）

※できるだけ公共交通機関をご利用ください。

